

令和4年度(2022年度)重点事業

(2) 学習成果を生かす

環境づくり



- ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供
- ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充
- ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援

< 大江公民館 >

期日	令和4年(2022年) 6月19日(日)～10月16日(日) 計12回
時間や期間	9:00～12:00 約5か月
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	大江公民館 大ホール
内容	大江公民館の担当小学校（7校）からプランナー（5, 6年生）を募集し、大学生（メイクフレンズ）の協力を得て、9名を3グループに分けて企画運営会議を開き、夏祭りとハロウィーンを開催した。2つの企画にお客さんとして参加するのは、7小学校の1, 2年生である。各回約150名ほどの参加希望者があった。
成果と課題	<p>○プランナーの子どもの感想で、人と接することが苦手だったので、今回プランナーに応募したが、プランナー同士で話し合い活動を進めて行くうちに、班のプランナーと仲良くなり、とても楽しい時間が過ごすことができたという感想があった。また、参加者側からは、上級生になったプランナーになりたいという感想が数件あった。</p> <p>▲コロナ感染拡大防止のため、活動範囲が狭くなってしまった。（人数制限があったため、調理ができなかった。）</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

< 富合公民館 >

期日	令和4年（2022年） 7月16日 土曜日
時間や期間	午前10時～11時
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	富合公民館
内容	毎月、第3土曜日午前11時から、とみあい図書館にてボランティアで読み聞かせをしていただいている「とみ♡ing」の皆様。たくさんの方々にこの活動を知っていただきたいので、特別に主催講座をしていただき、市政だより・地域回覧版・ホームページ・広告・掲示等で「とみ♡ing」を広報した。また今回は読み聞かせに手遊びを加え、子どもも主体的に活動できる内容も行った。今回の活動を機に、毎月の活動にも来ていただけたらと企画した。
成果と課題	<p>○市政だより・地域回覧版・ホームページ・広告・掲示等、広報手段を通常よりも増やしたことで、たくさんの方に「とみ♡ing」知っていただけた。</p> <p>○夏休みに子ども講座を多く計画し、今回の講座と併せて子ども向けの講座特集として広報し、子育て世代に広く訴えた。</p> <p>△新たに参加していただく方もおられるが、小さいお子様の定期的な参加は難しい。無理をせずに来られる時に気軽に来ていただけたらと思う。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>親子楽しめる読み聞かせ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子どもが喜ぶ道具を使った手遊び</p> </div> </div>	

【研究グループ②】 学習成果の還元

< 飽田公民館 >

期日	令和4年(2022年) 4月～令和5年(2023年) 3月
時間や期間	毎月第3土曜 午前10時半～午前11時半
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	飽田公民館 ホール・和室
内容	<p>飽田地域読み聞かせボランティア「ハイジの会」の学習活動及びボランティア活動支援として、毎月第3土曜日の午前中におはなし会を開催している。</p> <p>参加対象としては、幼児から小学2年生程度までの児童と保護者としており、読み聞かせや手遊び歌、パネルシアターなどを毎回違った題材を選定して実施している。また、年に2回のペースでZoom配信による「Zoomおはなし会」も実施している。</p>
成果と課題	<p>定期で行い次回の予定を知らせたり、LINEを活用して飽田地域や南区を対象とした情報発信を行うことで、参加者数が増えてきている。</p> <p>課題としては、著作権使用による事前の「使用許諾申請」を行い、出版社への許可を取る作業があり、許可を頂けない場合も少なくないのが現状である。許可を得られない場合は、作品の変更をしなければならず、前もっての確認作業に時間がかかる。</p>



【研究グループ②】 学習成果の還元

< 植木公民館 >

期日	令和4年(2022年)6/12・6/26・7/10・7/24・8/28・9/11・9/25 (毎回日曜日)
時間や期間	10:00~12:00
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	植木文化センター（植木公民館）、現地（小野の泉水、円台寺、田原坂公園）
内容	植木の史跡・名所についての歴史的学びを通して、植木の良さを知ってもらう。また、その学んだことをもとに、田原坂ガイド等のボランティア活動を行うことができる人を養成する。
成果と課題	多くの参加者(26名)で講座を進めることができたが、田原坂ガイドの会の後継者育成までは行っていないのが現状である。植木町の貴重な史跡・名所を後世につなげていくためにも、継続した講座開設での人材育成が望まれる。特に若い世代の方に学んでほしい。



< 北部公民館 >

期日	令和4年(2022年)4月16日(土)～令和5年(2023年)3月18日(土) 毎月1回 第3土曜日
時間や期間	午後1時半～午後3時半 1年間
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	偶数月 介護老人保健施設 「かなこぎ苑」 奇数月 特別養護老人ホーム「くわのみ荘」
内容	<p>「北部 おしゃべり・窓ふき隊」</p> <p>地域の老人養護施設に行って、窓ふきをしたり、入所者の方々とお話をしたりする体験を通して、身近なボランティアについての意識を高めることを目的に北部地域のボランティア団体「北部高校生ボランティアサークルわいわいHVC」と「北部中学校」RC部と一般参加者約20人で月に1回実施している。コロナ禍ということもあり、施設内での利用者とおしゃべりはできないので、施設の外側からの窓ふきと草取りを中心に活動している。</p>
成果と課題	<p>【成果】・参加者の多くは、毎回活動に来ているので、回数を重ねるごとに活動の意義を理解し、ボランティアに対する興味や関心、意欲の高まりを感じることができている。</p> <p>【課題】・コロナ禍で、施設内で直接利用者とおしゃべり等の活動ができないので、Zoom等を活用して、リモートで利用者とおしゃべりをする機会を設ける等、現状に応じた活動内容の工夫をしていきたい。</p>



【研究グループ②】 学習成果の還元

< 龍田公民館 >

期日	令和4年(2022年) 10月8日、10月22日、11月12日、11月26日 全4回
時間や期間	午前10時～正午(2時間)
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	龍田公民館 A会議室
内容	<p>自宅でできる認知症を予防するための様々な活動を体験できる講座。頭を使う内容として、簡単なクイズやナンプレ(数字探し)などに取り組む。体を使う内容として、様々な手遊びやジャンケンなど、楽しい雰囲気の中で手や足を使いながら、身体を動かす活動に取り組む。どの内容においても、「この活動は、どんな効果があるのか」について説明し、効果を理解しながら活動していく。</p>
成果と課題	<p>自分自身のために受講される方だけではなく、家族や地域のためになればという理由で受講される方もいる。「どのような活動が認知症の予防になるのか知りたいから」という受講の動機もあった。このような講座が今後、地域に広まっていけば、支援したいと思う。できるだけ地域の多くの方に知っていただく事が課題である。多くの方に関心を持ってもらうために、地域の団体に広報するなど、周知の方法を工夫しなくてはならないと思った。</p>



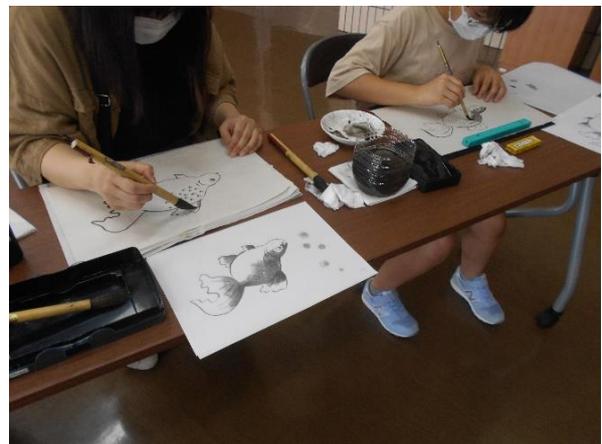
< 五福公民館 >

期日	令和4年(2022年)12月14日(木)
時間や期間	9:10～10:45
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	五福小学校 5年教室
内容	<p>講座名：おでかけ公民館五福小学校5年フットパス講座 講師：合同会社フットパス研究所 濱田孝正 氏</p> <p>五福小学校児童は、生活科及び総合的な学習の時間等で地域学習を行っている。地域の方々との関わりからコミュニケーションや地域の持つ力や魅力等を学び、学年ごとにまとめる活動を行っている。5年生は、それを表現する活動としてフットパスでのガイドを通じた発信と出会った。自分たちでフットパスでおもてなしをするためのノウハウを専門家から学んだ。</p>
成果と課題	<p>子どもたちが持っているこれまでの学習の積み上げを活用した表現方法について、公民館と一緒にフットパスイベントを行うこととなった。フットパスを行うために必要な配慮すべきこと、心掛けるべき持続可能な考え方等を地図作り活動を通して教えていただいた。自分たちが発信したいことだけでなく、五福を訪れてくれた方々が楽しいかどうかという視点で、相手意識を持つ活動とすることができた。具体的な活動内容は確定していないが、イベントの実現に向けて、子どもたちが準備に取り組んでいる。本番は3月予定。</p>



< 託麻公民館 >

期日	令和4年(2022年) 8月11日(木)、8月18日(木)
時間や期間	午前9時半～11時半、午後1時半～3時半
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	託麻公民館 2階ホール
内容	<p>《講座名：すみで描く！水墨画講座》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習サークルで水墨画を学んでいる講座生が、主催講座の講師となって、参加者に水墨画の基本的なことを教えていく。 ・夏休み中だったので、子どもと保護者で参加できる講座と、大人だけ参加する講座を企画した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水墨画講座は、講座生が減少していた。主催講座で水墨画のことを知ってもらいきっかけにしたいと相談を受け、企画した。参加者の中には、興味をもち、続けたいと講座生になった参加者もいた。 ・自分の学んだことを活かせたと、講座生の方が実感していた。 ・今回は公民館での開催となったが、地域のコミセンでも開催したいということなので、公民館講座と地域のコミセンをつなぐことも考えていきたい。



< 東部公民館 >

期日	令和4年(2022年) 12月11日(日)
時間や期間	令和4年(2022年)12月4日(日) プレ活動 令和4年(2022)年12月18日(日) 秋津公民館本番
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	東部公民館ホール及び秋津公民館ホール
内容	<p>講座名：熊本大学メイクフレンズ企画「わくわくミニゲーム大会～集めたアイテムでメリーツリーツクリマス～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容としては、クリスマスツリーの飾りを集めるゲームをし、チームごとにクリスマスツリーを完成させていくゲーム大会で、参加者は小学4、5年生11名であった。講座の運営をする大学生は24名であった。 ・大学生は本番に向け、予行練習をし、そこでの反省を基に、修正した状態で本番を迎えていた。そのため、講座の流れもスムーズに進み、内容もとても充実したものとなっていた。 ・大学生のアイデアが随所に光る構成で、初めて会った小学生同士でも親睦を深めることができ、楽しそうな姿がたくさん見られた。
成果と課題	<p>【成果】世代間交流、他校生との交流が図れた。参加者も大学生もとてもいい表情が見られた。大学生は子どもたちの様子に目を配り、休み時間には一人になる子が出ないように配慮をしていた。また、活動の最後には子どもたちの良さを書いた手作りのカードを手渡すなど、心温まる講座であった。</p> <p>【課題】周知広報の期間が短かったため、参加者が少なかった。とてもいい取組なので、多くの手段を用いて広報活動をし、参加者を増やしたい。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

【研究グループ②】 学習成果の還元

< 河内公民館 >

期日	令和5年(2023年) 1月26日 (木)
時間や期間	午前10時～11時10分
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	河内公民館・芳野コミセン・河内コミセン・河内老人福祉センター・各事業所
内容	<p>「オンラインでつながろう（1月）」</p> <p>10時 開会、参加会場の紹介 「河内大正琴」ふれあいフェスティバルでの演奏動画視聴 休憩</p> <p>10時30分 河内在住のダンス講師の指導で健康体操</p> <p>11時00分 参加会場への声掛け、次回の連絡、閉会</p>
成果と課題	<p>企画段階では、中学生が河内の歴史等について授業の中で作成した動画も視聴する予定であったが、著作権の問題から公民館講座での視聴ができなかった。中学校にも参加者にも迷惑をかけてしまい、事前にしっかりと確認しておくべきだったと反省している。大正琴の発表は大変好評で、発表に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりと楽しまれていたようだ。もちろん、発表者の大正琴の皆さんも新たな形で多くの方々に自分たちの発表を見てもらえることを大変喜んでおられた。別の回では公民館紹介動画や動画配信の講座を見ていただいている。これからも、著作権や個人情報等の問題には十分気を付けながら、地域の方々の学びの還元をオンラインでも実施していきたい。</p>



< 花園公民館 >

期日	令和4年(2022年)11月20日(日)
時間や期間	午前10時～11時半
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	花園公民館調理実習室
内容	「メスティン」を使用しての調理活動。参加者は4家族(計大人6名 子ども6名)前年度主催講座で行った防災クッキングをもとに家庭教育学級生が講師は立てずに自分で企画して、家庭教育学級生を対象に参加を募って、実施した。家庭教育学級生自身がが昨年学んだことを生かして、新たに参加した保護者に作り方を教えることができた。調理と同時に、防災の心構え等についても考えた。
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>「講師がいて受講者は与えられたり、消費したりして学ぶもの」というステレオタイプの講座の形から脱却して、自分たちで学び合うことができるということに気づくことができた。新しい講座の形を創り出す可能性を感じた。参加者が家族みんなでメスティンでの調理を楽しむことができていて、よかったと思う。</p> <p>【課題】</p> <p>家庭教育学級は毎年新しくなるので、少しずつ幅の広がっていく学習のスタイルをしっかり後年に伝えていく仕組みが必要。</p> <p>同時に「公民館だけでなく、あらゆる場所で学びは展開できるという体験」を深めることができるよう支援していきたい。</p>
  	

【研究グループ②】 学習成果の還元

< 西部公民館 >

期日	令和4年(2022年) 5月～令和5年(2023年) 3月の毎月第2土曜日
時間や期間	午前10時～正午
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	西部公民館 会議室 A
内容	以前から活動していた「西部公民館ITボランティア」だが、活動する機会が減ったため、講座内容をリニューアルし「PC・スマホよろず相談」講座を今年度よりスタートした。月に1回定期的に行うことで、地域の方に浸透すると同時にボランティアの活動を定期的に行うことをねらっている。参加者はあらかじめ質問事項を決めておき、解決したら帰っていいということで、途中入室・途中退室を可能としている。
成果と課題	事前申し込み不要であるため、当日にならないとどのような質問があるのか、来場者数がわからないなど、準備する側は大変であるが、パソコンへの質問はボランティア3人が、スマホへの質問は社会教育主事がと役割を分けているため混乱は回避できている。今後は地域の学生・高校生等と連携することで、スマホへの質問に対するボランティアを増やしたいと考えている。



< 幸田公民館 >

期日	令和4年(2022年) 10月22日(土)
時間や期間	午後2時～午後4時
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	幸田公民館 ホール
内容	<p>令和4年度 南区子どもチャレンジ公民館秋まつりをしよう。～アナログ体験～をプランナー企画によるイベントとして開催した。</p> <p>今年度プランナーは、4年生2人、5年生2人の計4人なので、1人1人が、やって見たい企画を考え、準備し、①イラスト大会②箸を使っての空中テッシュつかみ③3枚の折り紙で回るコマを作ろう④バルーンアートの4ブースを開催した。</p>
成果と課題	<p>【成果】・コロナ禍ということで、プランナー応募は4名であったが、学校や公民館等で学んだことを、地域の児童に楽しんでもらう為に、どんな企画がいいのか、よく考え、自宅でも賞品を準備をしてきたりと、意欲的に取り組んでいた。</p> <p>・参加した児童からは、アナログ体験の良さを実感する「楽しかった」「家でもやってみたい」との感想があり、盛況だった。</p> <p>【課題】・一般参加者は24人であった、土曜日開催で、習い事等と重なり、参加できない児童もいたようなので、開催曜日を検討すると更なる参加者増につながると思う。</p>
【バルーンアートの説明をするプランナー】	【折り紙3枚で回るコマを一緒に作る様子】
	

< 城南公民館 >

期日	令和4年(2022年)11月27日(日)
時間や期間	午後1時～3時
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	近隣商業施設の催事場
内容	リユース・リデュースを目的とした「0円マーケット」。参加者は4家族(計大人6名 子ども3名)前月にSDG'sについて学習したことを生かし、各家庭から使わなくなったものを持ち寄って、マーケットを開催し、リユース・リデュースの広がりをめざした。欲しいものが見つかり持ち帰る際、取り組んでいる「リユース・リデュース」や他のSDG'sに関することなどを書いてもらい掲示した。
成果と課題	<p>○学習した内容を生かしたイベントを、学級生自ら企画し実施することができた。</p> <p>○商業施設内での実施だったためお客さんも多く来られ、交流ができたとともに、学級の存在・取り組みなども地域のみなさんに理解してもらうことができ、学級生の達成感や自信につながった。</p> <p>○学んだことを生かすことの大切さに気づくことができた。</p> <p>△参加者が少なく、学級全体の学びにはつながらず、一部のものになってしまった。さらに広げていくためにも学級全体での取り組みにつなげられるよう企画時の工夫が必要である。</p> <p>△受動的にならず、自ら発信することで、学びを深める大切さが継続を生む。意義を理解して、継続した取り組みなるよう、支援をしていく。</p>



【研究グループ②】 学習成果の還元

< 天明公民館 >

期日	令和4年(2022年) 11月20日(日)
時間や期間	午前9時～午後4時
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	天明ホール
内容	天明文化協会と連携し「天明文化祭」を開催。地域で様々な文化活動をされている方々をはじめ、天明公民館の自主講座の活動をされている方々などの発表の場となる催しである。
成果と課題	<p>文化活動に取り組まれている地域の方々の日頃の学習の成果を発揮する機会ということで、衣装やおめかしにも気合が入り、ステージでは熱心に発表される様子が伺えた。さらに、外部からの講演としてアマチュア落語家の方を招き、地域の方々には普段見る事ができない落語の演目を生で観覧してもらい、参観された方々はとても喜ばれていた。</p> <p>観覧者はステージ発表をする方やその家族の方が中心であったが、もっと、普段から天明管内の文化活動に関わっていない方にも見ていただきたいと感じた。広報活動をさらに充実させることで、このような方々にも参観してもらい、地域の活性化にも今後つなげたいところである。</p>



< 南部公民館 >

期日	令和4年(2022年) 10月29日(土)
時間や期間	12:00~15:00
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	南区ふれあいフェスティバル 火の君文化センター
内容	<p>H29から開催している南区6館合同企画「南区ふれあいフェスティバル」を令和元年以来、3年ぶりに開催した。このステージ発表会は、公民館を利用して活動されている団体が出演する舞台であり、当館から4団体「サザンクロス・オカリナ」、「健康リフレッシュ」、「南部民舞しらゆり会」、「南部公民館フラダンス」が普段の練習の成果を披露された。</p>
成果と課題	<p>○ 「コロナ禍の中でも講座を継続されてきたことが披露できた」と出演者の方々は、あふれる笑顔で満足されていた。</p> <p>○ 「学びを止めなかったから発表が充実感を生んだ」との感想が出された。</p> <p>△ 鑑賞していただく方々が家族中心となってしまう、若干少なかった。もっと広くの方々がこのイベントを知ることができるような周知が必要。</p>



< 富合公民館 >

期日	令和4年(2022年) 8月3日・10日・17日 水曜日
時間や期間	午後1時半～3時半
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	富合公民館
内容	<p>富合公民館の主催講座で通年活動されている「布絵本づくり」の方々が、地域の小学生のため、「フェルトでマスコットづくり」講座を行った。</p> <p>小学校5年生で家庭科が始まり、裁縫セットを買って、初めて玉止め、玉結び等を行っている子どもたちに、裁縫の楽しさを伝えるための講座。夏休みに小学生5・6年生を対象に、裁縫の基礎・基本を教えた後、フェルトでマスコット作りを行った。</p>
成果と課題	<p>○公民館で学んでいる裁縫の技を生かし、小学5・6年生に教え、還元することで学びを生かす機会になった。</p> <p>○地域の高齢者の方と、若い参加者が講座を通して知り合い、触れ合うことができた。</p> <p>△クロスステッチの縫い方を教えることは講師にとっても難しかった。次回は縫い方の動画等の教材を用意し、講師指導の支援も行いたい。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>刺繍糸選び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クロスステッチで作成中</p> </div> </div>	

< 植木公民館 >

期日	令和4年(2022年)12月27日(火)、28日(水)
時間や期間	10:00~12:00
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	植木文化センター(植木公民館)
内容	<p>自分の思いをお花で表現できるよう「生け花」の体験を行い、お正月用の花を生ける。</p> <p>植木公民館自主講座「池坊華道」の講師と講座生を講師とした主催講座である。自主講座で学んだことを、主催講座で発揮してもらう。</p>
成果と課題	<p>自主講座での学びを生かす場面があることは、自尊感情を高めるとともに生涯学習を今後も続けたいという意欲につながるはずである。この主催講座のように、まずは、子ども向けの講座を今後増やしていきたい。</p>



【研究グループ②】 学習成果の還元

< 清水公民館 >

期日	令和4年(2022年) 8月6日(土)
時間や期間	午後1時～午後3時
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	清水公民館 ホール
内容	<p>令和4年度 北区子どもチャレンジ公民館事業で、「みんなでわいわい夏祭り」を実施した。</p> <p>今年度のプランナーは、4つの小学校から集まった4年生2人、5年生1人、6年生1人の計5人。熊本大学メイクフレンズの学生15人の支援を得て、プランナーのアイデアを膨らませながら計画、準備、リハーサルを重ねた。</p> <p>夏祭りはプランナーが主体的に受付や説明・進行役を担い、ジェスチャー遊びや鬼遊び、集団ゲームなどを楽しく進行した。</p>
成果と課題	<p>【成果】夏祭りは、定員20人を大きく上回る応募があった。活動中は笑顔があふれ、参加者もプランナーも満足感をもって終わることができた。夏の暑い盛りだったが、給水しつつ、安全に運営することができた。学生の支援を得てイベントを成功させたプランナーは自信を持つことができた。</p> <p>【課題】レクレーションや会議・夏祭りを併せて、年間15回の集まりを計画した。プランナーの中に土日の習い事がある子どもが複数いたので、土曜日と日曜日交互に実施したが、5人全員集まるのが難しかった。</p>
	<p>【参加者と受付を行うプランナー】</p> 
	<p>【法被を着てゲームの説明をするプランナー】</p> 

【研究グループ②】 学習成果の還元

< 秋津公民館 >

期日	令和4年(2022年) 6月22日 ~ 令和5年(2023年) 2月19日
時間や期間	①6月22日 ②8月28日 ③10月23日 ④12月18日 ⑤2月19日
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	秋津公民館
内容	小学生以下の子どもと保護者を対象にしたミニイベントを2カ月に1回実施（12月までに4回実施済み。2月にも予定）。内容は、季節の行事を題材にした物づくりやゲームなど。例えば、4回目の10月は「親子で変身！『ドキドキハロウィン』」、2月の予定は「親子でお買い物『桃色ひなまつり』」。
成果と課題	前年度末、二十歳になって間もない方から「子育てに関するボランティア活動をしたい」（同じ中学校卒業の4人で「かもみーる」というグループを作っている）との相談があった。具体的な活動内容は決まっていなかったが、意欲にあふれた若い世代の思いを具現化したいと思い、どのようなことをしたいか、対象は、活動場所は、日時は・・・など複数回にわたり聞き取りながら一緒に企画を作る支援を行った。「保護者もほっと安心できる時間を」とアンケート結果をもとに改善し、回を追うごとに企画や運営などが充実してきている。公民館としても、公民館だよりやLINEでの広報の支援も行っているが、本人たちもSNSで活動の様子を発信するなど自主的な活動ができている



< 富合公民館 >

期日	令和4年(2022年) 11月4・11・18日(金)
時間や期間	午後1時～3時
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供 <input type="checkbox"/> ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
場所	富合公民館
内容	<p>富合公民館の自主講座「3B体操」の講師の方が、運動が苦手な方・初めての方でもできる3B体操をたくさんの方々に知って欲しい、実際に体験してみなさんも健康になって欲しいという思いから、市民企画として3B体操を主催講座で行った。</p> <p>自主講座での学びの還元として、講座に参加していただいた。体験後は講師たちの3B体操講座の紹介を行った。参加生が今後も参加することで、コミュニティ形成支援に繋がればとも思い、企画した。</p>
成果と課題	<p>○公民館を利用されている方々から、自分たちが普段学んでいる3B体操の講座・講師をしたいと市民企画の提案をいただいた。</p> <p>○普段、自分たちが学んでいることを、たくさんの方々にも体験してもらうことで学びの還元・広報になった。</p> <p>△主催講座で無料で短期なら参加しても、長期で有料になると参加はされないという方が多かったが、1月に参加者が一人講座に参加する予定。</p>



3Bのベルを使った体操



3Bのボールを使った体操

令和4年度(2022年度)重点事業

(3) 新しい生活様式に 適応した事業の展開



- ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施
- ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施
- ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施

【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 大江公民館 >

期日	令和4年(2022年) 11月26日(土)
時間や期間	10:00~11:30
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	大江公民館 A会議室
内容	対面での参加者とオンライン参加者で募集した。みんなで考える「SDGs」という講演会で、今自分にできることを考え、できることから実践しようというテーマで講演会を実施した。
成果と課題	<p>○「SDGs」とは何か。初めて知ったという入門編の講座であった。電話等でお問い合わせもあり、関心が高いことがわかった。また、オンライン講座ということで、コロナ感染拡大防止の効果もあった。</p> <p>▲広報活動が上手くいかず、地元小学校にチラシを配布したが、思った以上の参加者がいなかったことは反省点である。(オンライン参加者20人、対面参加者3名)</p>



【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 秋津公民館 >

期日	令和4年11月18日（金）
時間や期間	午後7時～8時半
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	秋津公民館会議室 または オンライン（受講者の端末）
内容	家庭教育学級合同講演会（兼ふれあい教養講演会） 「アンガーマネジメント～怒りをコントロールして笑顔の子育て（生活）～」 講師：堀川 香代さん（公認心理師） 会場とオンライン（ZOOM）のハイブリットで行う。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代の参加があった。全体の参加者は32人。オンラインが20人でそのうち約4割は、熊本市公民館講座を初めて受講した方で、新規利用者の獲得につながった。「会場に行くことが難しい場合にも参加できる」（アンケート結果）などオンラインでの受講機会を設けた成果と思われる。 ・会場とオンライン配信を行うためには、一人での運営は難しく、他館の社会教育主事に補助してもらった。このような形式で行うには、運営スタッフの確保が必要である。 ・オンラインでの資料提示や音声（雑音）、映像の調整などの工夫・配慮が必要。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">オンラインでの受講について</p> <p>☆講演会への参加（ログイン）について</p> <p>※18:40からログインできます。</p> <p>①ミーティングに「参加」</p> <p>②ミーティングID及び名前を入力</p> <p>ミーティングID 345 482 1656</p> <p>名前 姓 出席確認のため、お名前（姓）を入力してください。</p> <p>③パスコードを入力</p> <p>パスコード akill18</p> <p><small>（3文字のアルファベットの後は、数字の いち いち いち はち です）</small></p> <p>④ビデオを使用して「参加」</p> <p>⑤開会までお待ちください。（開会は19:00です）</p> <p>☆オンライン受講の講演会中の注意事項について</p> <p>①講演会中はミュートにして発言などが出来ないようご配慮ください。</p> <p>②配信中の録画・録音、スクリーンショットなどは禁止します。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">アンケートのご提出について</p> <p>講演会終了後、アンケートにご協力ください。</p> <p>アンケート記入の際は QR コードを読み取り、アンケートのフォームに記入し、送信をお願いします。</p> <p>※アンケートのQRコードは、下のQRコードまたは、下のURLからアンケートフォームにお進みください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <p style="font-size: 8px;">QRコードを読み取り、アンケートのフォームに記入し、送信をお願いします。</p> </div> <p style="font-size: 8px; margin-top: 5px;">https://docs.google.com/forms/d/35dG6-19d3d4W1A97Z9e8T16z2G28F98EJ/edit</p> <p style="font-size: 8px;">問合せは11/20（日）締切をお願いします。</p> <p style="font-size: 8px; text-align: right;">お問い合わせ：熊本市秋津公民館 096-365-5750</p> </div>	

【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 東部公民館 >

期日	令和4年(2022年)7月30日(土)
時間や期間	午前10時～正午
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	なし
内容	<p>講座名「読書感想文なんて怖くない！！」オンライン講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生から中学3年生を対象に読書感想文講座を実施した。講師からの「しつもん」に答えながら、本を見ていくだけで「読書感想文」が書けるワークショップ形式の講座を行った。当日は小学4年～6年の8名がオンラインで参加した。 ・事前にZOOMのIDとパスワード、及びワークシートを郵送にて参加者に配付し、開始時刻10分前から参加するようお願いした。講師からの呼びかけに個別に返事をするなど、双方向のやり取りができた。
成果と課題	<p>【成果】 ZOOMを使っでの講座は初めてだったため、うまく行くか心配したが、子どもたちはZOOMの操作に慣れており、スムーズに進んだ。やり取りや顔出しが苦手な子どもはその意思を尊重し、チャットのみで意思の疎通を図るなどの対応ができた。夏休み期間中はこのような講座を多く提供することで子どもたちに学びの機会を保障できると大いなる可能性を感じた。</p> <p>【課題】 講師がZOOMの扱いに慣れていたために、スムーズな運営ができたように思う。講座を運営する側（公民館職員）のスキルアップが求められると感じた。</p>



< 河内公民館 >

期日	なし
時間や期間	令和4年12月1日(木)～令和5年1月31日(火)
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	なし
内容	「キンパ巻きを作ろう～河内の海苔ができるまで～(動画配信)」 第1部は河内の海苔ができて出荷されるまでの様子を4月から月を追って紹介し、第2部は海苔を使ったキンパ巻き作りの動画を作成し、配信している。
成果と課題	【成果】 メインは「河内の良さを知ってもらうこと」。料理の紹介と合わせて一つの動画にまとめることができたことは良かったし、視聴申込者がいたことは有難いことだと思う。視聴者から返ってきた感想を次に生かしたい。 【課題】 動画についての技術不足。それをどう補って繋げていくかは大きな課題だと思う。また、どのような内容をどのような方々にどのように見てもらうのか、ねらいや題材、撮影法等の工夫が必要である。

<p>河内公民館主催講座</p> <p>「キンパ巻きを作ろう ～河内の海苔ができるまで～」</p>  <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>第1部 「河内産の美味しい海苔ができるまで」</p> <p>第2部 「キンパ巻きを作ろう」</p> </div>	<p style="text-align: right;">10月～11月</p>  <p style="text-align: right;">海苔の芽が付いた網を浮き流し漁場にも広げます。</p>
---	--

< 富合公民館 >

期日	3月公開予定
時間や期間	視聴者の方の都合のいい時間（約15分）
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	富合公民館
内容	<p>あまりにもすごい武勇伝の数々で、歴史好きな方だったら知っている源為朝。雁回山の名前の由来もその一つである。そのような源為朝を、ぜひ皆さんに知っていただきたく講座を計画した。</p> <p>主催講座の「布絵本づくり」の皆さんが作った源為朝の布絵本に、主催講座読み聞かせボランティアをしていただいている「とみ♡ing」の皆さんが朗読を加え、デジタルアーカイブ化することで、誰もが、いつでも見られるYouTube動画講座を作成し、源為朝をたくさんの方に知っていただく。</p>
成果と課題	<p>○「布絵本づくり」の方が作った作品に、「とみ♡ing」の方が朗読を加え、公民館がデジタルアーカイブ化することで、3者連携して動画作成する予定。</p> <p>○山の名前を変え、熊本の様々な地域でも武勇伝を残した武将なので、ぜひ認知度を高めていきたい。しかし、通常の講座形式では集客等、予想が難しいので、気軽に、いつでも見れるYouTube講座形式として実施予定。</p> <p>△YouTube講座のよさはあるが、基本情報の一方通行になるので、視聴者の反応が分かりにくい。</p>



弓の名手、源為朝の布絵本



とみあい図書館に布絵本を寄贈

【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 飽田公民館 >

期日	令和4年(2022年) 6月25日(土)・令和5年(2023年) 3月4日(土)
時間や期間	午前10時30分～午前11時30分
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	飽田公民館 多目的ホール
内容	<p>飽田地域読み聞かせの会「ハイジの会」の皆さんに依頼し、6月と3月にZoomおはなし会をライブで配信。内容は、童話の読み聞かせやパネルシアター・手遊び歌を交えて約40分の配信となっている。 広報は、市政だよりや地域保育園、幼稚園にチラシを配り、電子申請によって申し込まれた方に配信前日までにZoomのIDとパスコードをお知らせして実施する。</p>
成果と課題	<p>家庭に居ておはなし会に参加いただけたことや地域にある保育園へお誘いのポスターを配布し、保育園にて園児が視聴できたことが視聴数の増加になっている。Zoomにより相手方の様子もうかがえるので、配信側も相手意識が感じられるのがメリットと思われる。配信内容については、著作物使用許諾申請を各出版社へ送って使用許可を得なければならないので、SARTRASの範囲が社会教育の場まで拡大することを期待する。また、機材や配信環境の充実が課題となる。</p>



< 北部 公民館 >

期日	1期 4/8(金)～6/24(金)【全6回】 2期 7/8(金)～9/30(金)【全6回】 3期 10/14(金)～12/23(金)【全6回】 4期 1/13(金)～3/24(金)【全6回】
時間や期間	月2回(第2・4金) 午前11時～正午 令和4年(2022年)4月～令和5年(2023年)3月 全24回
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	熊本市北部公民館をメイン会場として、菊南病院または熊本機能病院から、北部東コミュニティーセンター、川上老人福祉センター、小規模多機能ホーム「きなっせ」にZoomで配信
内容	<p>熊本市高齢者支援センターささえりあ北部と共催して北部地域在住の「65歳以上の方々と1年間、全24回の「健活教室」を開催した。</p> <p>北部公民館(30人参加)をメイン会場に、北部東コミュニティーセンター、川上老人福祉センター、小規模多機能ホーム「きなっせ」をZoomで繋ぐことにより、4会場合わせて60人余りの方々が参加された。</p> <p>また、菊南病院や熊本機能病院ともZoomで繋ぎ、健康体操の講師が、北部公民館に来館できない場合、菊南病院や熊本機能病院からZoom配信していただいた。</p>
成果と課題	<p>○参加者ほぼ全員が、1年間、全24回の「健活教室」を終了することができ、どの参加者も健康体操を始めた当初に比べ、終了時にはスムーズにやることができるようになった。</p> <p>○ZOOMの配信により、メイン会場の北部公民館に来館しなくても、他の会場から「健活教室」に参加できることで、参加者のニーズに合わせて、参加しやすい会場で実施することができた。</p> <p>△1年間を通して講座を開催することにより、継続して参加された方々は、体力増強や健康維持に関して、かなりの成果を得ることができたが、「健活教室」を更に広めるためには、新規加入の方々を受け入れたいので、Zoomで参加できる会場の確保等、広がりを生み出す工夫を進めていきたい。</p>

【講師の指導をZoomで受講している様子】



【講師に直接指導を受け、他会場にZoomで配信している様子】



< 中央公民館 >

期日	令和4年(2022年) 12月13日(火)・20日(火)・27日(火)
時間や期間	午前10時～正午(2時間) 全3回
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	6階 大会議室
内容	スマートフォンの「アンドロイド機種」の基礎的操作を学ぶ初心者入門講座として、3回シリーズで開設した。スマホを日常でどのように活用するのか、実践的な使い方をアンドロイド機種の端末を触れながら楽しんで学べる講座。
成果と課題	<p>デジタル化を進めるほど、多くの市民が利便性を感じる一方、デジタル・デバイトが広がり、シニアを中心にそこから取り残される方がおられるという事実もある。3回のスマホ講座で一定の成果があったのではないかと考える。</p> <p>生活の中で普通にスマホを使えるように、参加者の声を基に講習コンテンツや開催時期等も考慮して、今後更に継続して開設していきたい。</p>



< 託麻公民館 >

期日	令和4年(2022年) 12月14日(水)、23日(金)
時間や期間	午前10時00分～12時00分(2時間)
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルデバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	託麻公民館 C会議室
内容	<p>シニア向けスマホ講座は、以前より地域の方から要望があった。今回は、60歳以上、初心者の方を対象に講座を開設した。内容は、電源の入れ方、切り方、アイコンの見方、タップ、スワイプなど、基本的なことから始めていった。多人数で一斉に説明しても理解しにくいところもあるので、6名の少人数、講師2人での講座とした。</p>
成果と課題	<p>毎回募集人数を上回る応募があり、そのニーズの高さを感じている。「持っているけどうまく使えない」「調べものをしたい」「家族から言われて」等、受講動機は様々だが、終わってから「来てよかった」「ありがとう」と言って帰られる方が多い。少人数での対応となるので、満足度も高いようだった。</p> <p>少人数の講座なので、多くの方に受講していただくためには複数回の開設が必要だと感じた。また受講したいとの声もあったので、継続して開設していくことも検討したい。</p>
	

【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 西部公民館 >

期日	令和4年10月13日(木)、20日(木)、27日(木)
時間や期間	午前10時～正午
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	西部公民館 会議室A
内容	従来の携帯電話からスマートフォンに乗り換えたものの、何に使えるのか、どうやって使うのかといった基礎的な部分から戸惑いのある高齢者を対象に「スマホ初級(アンドロイド)」講座を行うもの。高齢者に限定はしていないが、開催期日を平日の午前中に設定することで高齢者の受講を促すものとしている。
成果と課題	「携帯電話会社の無料講座も受けてみたんですが・・・」という方もいて、不安もあったようだが、自分のスマートフォンとプロジェクターで映し出されている画面、テキストの写真を見比べながら安心して受講していただくことができた。地図アプリの使い方やQRコードの読み取り、検索の仕方といった、活用場面を想定した講座内容だったため、受講生から「とてもわかりやすかった」との声をいただいた。課題としては、これからはしばらくの間はスマホへの乗り換えが徐々に進むと考えられるため、今後も講座を開設する必要があることである。



< 花園公民館 >

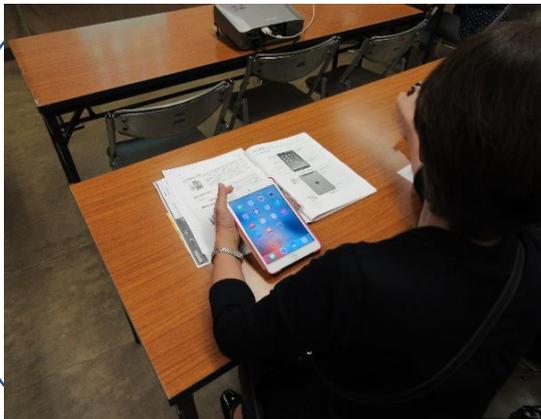
期日	令和4年(2022年) 9月15日(木)
時間や期間	通年毎月第3木曜日午前10時～開催
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	ロビー
内容	<p>電話でPCの使い方等の相談内容を聞いておき、調べたことを受講者に教える。学んだことは受講者同士で教え合った。</p> <p>同時に、質問をまとめて「PCの使い方」フリーペーパーを作成して、誰もがホームページから閲覧できるようにしたり、小冊子にして手に取ったりできるようにしたりする。</p>
成果と課題	<p>毎月開催することで、共通する困り事が見えてきた。スワイプやタップの仕方、スマホのマークの意味、アカウントとパスワードの取り扱いなどである。それらについて、講師の先生には助言指導してもらった。しかし、双方向で教え合う形に持っていきかけたので、座席を輪にして意見交換がしやすいように心がけた。</p> <p>そのことによって、集まった人たちの中で会話や教え合いが生まれ、それを楽しいと言われる高齢者がおられた。楽しみながら、スマホの使い方を覚えてもらっているのが良いと思う。</p>



【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 幸田公民館 >

期日	令和4年(2022年)9月27日(火) 9月28日(水)
時間や期間	2時間 2日間
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルデバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	幸田公民館
内容	南区では、第1弾、第2弾のスマホ体験講座「やさしいスマホ講座(体験版)」「やさしいスマホ講座(活用版)」を開いた。文字入力・簡単なアプリケーションの使い方等、初心者向けの講座で、地元の大学生が講師と一緒に指導に当たった。スマートフォンの便利さ・活用方法を学ぶきっかけになった。大学生はテーブルを巡回して、それぞれの質問に答えて疑問を解決していた。
成果と課題	デジタルデバイド対策の一環で、南区6公民館で講座を計画した。「公民館でデジタル関連の講座を開設してほしい。」という声も聞かれた中での実施となった。区全体で実施できたことや多くのサポート学生の募集があったことで、個人差に応じた学びができた。このような世代間交流は、まちづくり推進にとってもとてもよい機会だと思うので、今後も継続して取り組むことが重要だと考える。課題は、デジタル機器に触れる機会がない方々を公民館がどのように支援していくかを考えておくことである。



【研究グループ③】 新しい生活様式に適応した事業

< 富合公民館 >

期日	1回目 8月11日(木) 全1回 2回目 8月30日(火)・31日(水)・9月1日(木) 全3回
時間や期間	午前10時～正午
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	富合公民館
内容	デジタルディバイド解消のための「やさしいスマホ講座」として、南区6館合同で、まちづくり班、ささえりあと連携し、スマートフォン講座を2回行った。1回目はスマートフォン貸し出し形式で、2回目は参加者自身のスマートフォンを使っただけの講座とした。また、大学生が支援として参加し、分からないで困っている参加者への支援を行った。
成果と課題	<p>○softbank社のスマートフォン貸し出しにより、1回目はスマートフォンをお持ちでない方も講座に参加できた。</p> <p>○講師の丁寧な説明、大学生の支援もあり、参加者の理解・満足度は高かった。(アンケートで満足度は5段階評価で1回目は4.4、2回目は4.8。)</p> <p>△1回目講座は、「スマートフォンを持っていないけど興味がある方」で参加を募ると、ニーズに限られるため、参加者数確保が難しい。</p> <p>△6館合同・他部署・関係機関等、連携が多い場合、役割分担が重要になる。</p> <p>△コロナ禍で地元の大学生の支援者を集めるのが大変だった。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スマートフォン貸し出しでお持ちでない方も参加可能</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大学生が困っている方に支援</p> </div> </div>	

【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 龍田公民館 >

期日	令和4年(2022年) 10月19日(水)～21日(金)
時間や期間	午後1時30分～3時30分(2時間) 3回
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	龍田公民館 C会議室
内容	<p>パソコン初心者の方を対象にした講座。パソコンの電源の入れ方、終了の仕方などパソコンの基本的な操作から、ソフトの起動、ワードの操作について学んだ。講師が作成したテキストには、操作の方法について写真入りで詳しく説明がしてあり、講座生はテキストを追いながら、講師の説明を聴いていた。個別の相談に対応できるように、講座生を少人数の5人に設定した。講師はテーブルを巡回して、それぞれの質問に答えて疑問を解決していた。</p>
成果と課題	<p>「パソコンを買っても、どうやって使ったらいいのかわからない」「基礎からゆっくり学びたい」という市民の声を聞いて講座を計画した。新型コロナワクチンの予約やリモート会議など、ここ数年でパソコンを使用する状況は増えてきた。それに伴い「パソコンを学びたい」という声も大きくなってきた。今回の講座ではじっくりと納得のいく学習ができた。受講希望者が多いが、効果的に学習するためには少人数にしなければならず、そこが課題である。</p>



【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 南部公民館 >

期日	令和4年(2022年) 8月24日(水), 25日(木), 26日(金)
時間や期間	午前10時～午前11時半
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	南部公民館 BC会議室
内容	<p>南区6館合同企画「デジタルディバイド解消講座」第1弾「スマホ体験講座」に引き続き第2弾「スマホ活用講座」(南部公民館は、Android端末限定)</p> <p>ご自身のスマホを持っているけれども十分に使いこなせていないという方々を対象にメールや写真の活用方法をはじめ、地図アプリの操作方法を学ぶ。指導者は講師2名に加えて、地元大学生4人に補助講師として依頼して実施</p>
成果と課題	<p>地元大学生が補助講師として入ることで構えることなくとてもたずねやすかったとの感想が多かった。最終日には、講師2名にサポート4人で受講生17名への支援体制だった。すでに2日間で学んだことをもう一度確認するための操作の復習という時間として設定されており、手厚い支援ができて参加された受講者は大変満足されていた。</p> <p>今回、まちづくり経費予算で実施したので今後の持続性は懸案である。</p>



【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 城南公民館 >

期日	①令和4年(2022年) 8月24日(水) ②令和4年(2022年) 9月6日(火)～8日(木)
時間や期間	①午前11時～午後12時半(1.5時間) 1回 ②午後1時半～3時(1.5時間) 3回
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	城南公民館 学習室4・学習室1
内容	①は、スマホを持っていない、これから持とうとしている方が対象。電源の入れ方から電話のかけ方など、基本的初歩的な操作方法を学んだ。②は、スマホの便利な機能を使いたいという方が対象。カメラ機能や地図アプリなど、知っておくと便利な機能を学んだ。また細かい個人的な質問等には講師のほか、補助講師として参加した学生が担当した。
成果と課題	スマホは欲しいが難しそう、買った方がいいが電話しか使わないといった方々にとって、とても有意義な講座となり、満足度も高かった。全体的にはニーズに合ったものになったが、個別の質問も多く、多機能になっただけ高齢者のユーザーにとってはハードルが高くなっていることが分かった。それぞれの質問に丁寧に対応する必要がある。



< 清水 公民館 >

期日	初めてのExcel 5/19～6/9 (全4回)、 Wordの基礎 5/26～6/9 (全3回) 初めてのiPhone 8/18～9/29 (全4回)、 初めてのiPad 10/5～10/19 (全3回) Wordで年賀状作り 11/17～12/1 (全3回) 初めてのアンドロイドスマホ 1/12～/26 (全3回)
時間や期間	午前10時～正午 ※「初めてのExcel」のみ13時～15時 全20回
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	熊本市清水公民館 第1研修室
内容	<p>パソコンやスマートフォンを所持しているものの十分に使いこなすことができ ていない初心者の方々を対象とした講座をシリーズで開催した。 基本的な操作方法から発展、応用、便利な使い方まで取り扱った。 できるかぎり個別の質問に応えることがことができるよう、講師2名で指導にあ たっていた。</p>
成果と課題	<p>高齢者の参加が多く、想定通り、端末を所持しているものの使いこなせない、 この機会に教えてもらいたいという方々が多く参加された。 テキストを基に順を追って学びを進め、つまづいた方には、個別支援を行うこ とで解決につなげることができた。講座と講座の間の期間に自分で復習し、理解 を深める方が多くいらっした。学び続ける中で新たな疑問が生まれ、その疑 問が解決する、繰り返し繰り返し操作することで身につくという良い循環が生ま れていた。 講座終了時に参加者への聞き取りをしたが、「できることが増えた」「趣味の 旅行に生かしたい」「参加して良かった」など、高い評価を得ることができた。</p>



【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 植木公民館 >

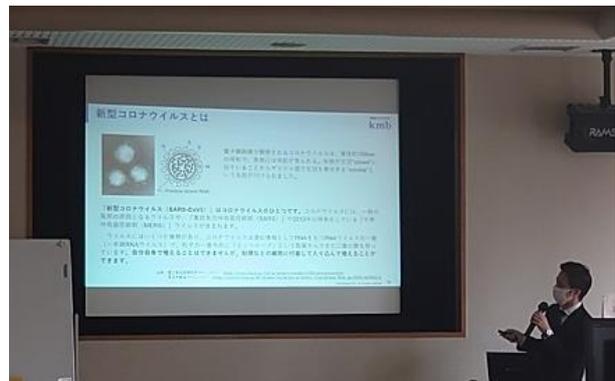
期日	令和4年(2022年) 7月29日(金)
時間や期間	10:00~11:00
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座(動画配信・双方向型)の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② デジタルディバイド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できない人との間に生じる格差)対策を含めたICT講座の実施 <input type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	大和地域コミュニティーセンター
内容	<p>スマホを初めて使うという方向けの、基本操作をマスターし、緊急時に連絡等が取れるスキルを身に付けていただくための講座</p> <p>・LINEの紹介と活用方法</p>
成果と課題	<p>参加者より「難しかった。何回もやってほしい」「子どもから、LINEだけは使えるようになってと言われて参加した。子どもや孫のためにも頑張りたい」「詳しく教えてもらってよかった。でも、一回では覚えきれないので、テキストを見ながら続けて勉強したい」という感想があがってきた。特に高齢者の方へのICT講座は、主催講座やおでかけ公民館の継続的な実施が必要であると感じた。自主講座や一般への移行についても、高齢者にとってはハードルが高いと考える。</p>



【研究グループ③】 新しい生活様式に適應した事業

< 五福公民館 >

期日	令和4年(2022年) 12月5日(日)
時間や期間	10:00~11:00
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	五福まちづくり交流センター 4階 第1第2会議室
内容	<p>講座名：五福公民館教養講演会 演題：新型コロナウイルス感染症とワクチン 講師：KMバイオロジクス株式会社 広報課長 藤田洋一 氏</p> <p>新型コロナウイルス感染症の12月初旬時点での現状と講師の会社でのワクチン製造についての現状と今後のワクチンの選択や接種の考え方についてお話をいただいた。</p>
成果と課題	<p>時節柄、地域住民の興味関心に応える内容での講演を準備し、市政だより、公民館だより、館内館外掲示、各団体へのチラシと申込書の配布など、広報に工夫をしてみたが、申込者数が伸び悩んだ。10月末から第8波に入り、陽性者数が増加している状況での申込期間となったためか、順調な申込とはならなかった。</p> <p>講演では、適切な資料を基にお話をいただいた。12月以降は中年層の4回目以降接種が始まるため、講演内容を届けたかった。</p> <p>公民館が直面する多世代に向けた内容を届けるためにも広報に工夫が必要だと感じた。</p>



< 天明公民館 >

期日	令和4年(2022年) 4月22日(金)
時間や期間	14時～15時30分
取組の重点	<input type="checkbox"/> ① 公民館オンライン講座（動画配信・双方向型）の実施 <input type="checkbox"/> ② デジタルディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差）対策を含めたICT講座の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 新型コロナウイルス感染症を学ぶ講座の実施
場所	天明公民館 会議室
内容	<p>新型コロナウイルス感染症が世界中に広まり3年が経つ。人々の生活から経済に至るまで大きな影響を受け、多くの人々の命が失われ続ける中、終息の見通しが全く立っていない。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスに対するワクチンが海外で開発され、日本国内ではこの3年間で4回目の接種が進められている。その影響からか、重傷者数が全国でも激減している。このワクチン開発は国内でも進められていて、県内の企業でも「KMバイオロジクス」がその最先端の技術をもって国産ワクチンを生産する予定である。</p> <p>今回は、日本を代表する県内のワクチン開発企業「KMバイオロジクス」から講師をお招きし、この新型コロナウイルス感染症への今後の対策と、これに対する国内ワクチン開発の現状と今後の見通しなどを中心とした講座を実施するものである。</p>
成果と課題	<p>新型コロナワクチン接種にまつわる様々な噂やデマが流れる中、講話の中で新型コロナワクチンの効果とその仕組みがわかりやすく解説され、ワクチン接種に消極的だったという参加者が安心して次回からワクチン接種を受けることができると語られていたのが印象に残った。</p> <p>また、ワクチン接種は様々な理由で受けたくても受けられない方もいるなど、義務ではなく任意である。接種を受けない方への偏見や誹謗中傷もあってはならないことも参加者の理解につながった。</p>
	